

30日死者統計

30日死者の状況

1 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	12月中		12月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	12	±0	1.00	98	-11	1.00
	30日死者	6	+2	0.50	25	-8	0.26
	30日以内死者	18	+2	1.50	123	-19	1.26

○ 全国

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	252	+4	1.00	2,257	-119	1.00
	30日死者	49	-15	0.19	465	-26	0.21
	30日以内死者	301	-11	1.19	2,722	-145	1.21

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

2 概要

12月末の県下の「30日死者」は25人（-8人）、「24時間死者」は98人（-11人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は123人（-19人）であり、「24時間死者」の1.26倍となっている。

3 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 神戸10人（40.0%）、阪神10人（40.0%）、西播3人（12.0%）、但馬1人（4.0%）、淡路1人（4.0%）で発生している。
- 状態別 自転車乗中9人（36.0%）、歩行中8人（32.0%）、自動二輪乗中3人（12.0%）、自動車乗中2人（8.0%）、一般原付乗中2人（8.0%）の順で発生している。
- 年齢層別 65歳以上が15人（60.0%）、25～64歳が9人（36.0%）、16～24歳が1人（4.0%）となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が16人（64.0%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が19人で、76.0%となっている。